

## 令和5年香美市議会定例会10月臨時会議 市長提案説明

本日、議員の皆さまのご出席をいただき、令和5年香美市議会定例会10月臨時会議が開かれますことに、厚く御礼申し上げます。

議案の説明に先立ち、最近の香美市の取り組みを例に挙げながら、私の政治姿勢や市政運営についての考え方をご説明させていただきます。

まず最初に、高齢者福祉の充実についてです。

香美市では、高齢者の活躍する場づくりや、介護予防、健康づくりの推進に取り組んでおり、人生100年と言われる時代において、香美市が選ばれる町になるべく、日々取り組んでいるところです。

また老人福祉法では、9月15日から21日が老人週間と定められており、全国各地で様々な取り組みが行われています。

香美市におきましても、高齢者福祉の向上、地域コミュニティの充実を目指し、今年度より香美市地区敬老事業補助金を見直しました。結果、前年より多くの自治会において、事業が実施されました。補助金見直しの効果が出たのではと思っております。

議員の皆様には、地域の敬老会に関わって頂いたのではと思います。誠にありがとうございました。

香美市では、9月15日時点で、今年75歳以上の方が6,284名おられ、100歳になられる方は24名、現在100歳以上の方は53名いらっしゃいます。

先だっては、土佐山田町西後入にお住まいだった107歳になられる和田さんを、濱田高知県知事が訪問されたのですが、私も同行させて頂いて、ご長寿のお祝いをさせて頂きました。

そして今年100歳になられる方で、ご希望のあった方に、市長訪問をさせて頂きました。本当に皆さんお元気で、嬉しく思ったことでした。

今後におきましても、誰もが住み慣れた地域で、健康で生きがいのある生活を送るための取り組みを進め、地域共生社会の実現を目指してまいります。

次に、農業と伝統産業の振興についてです。

5月臨時会議でもご紹介した今年度の新嘗祭献穀者である竹島章さんが育てたお米が、無事収穫されました。

9月21日に、新嘗祭献穀田抜穂式という儀式として収穫されたのですが、その時に使われた鎌は、土佐山田で作られた土佐打刃物でした。

土佐錦刃物の三木高明さんが昭和57年から、高知県内各地で行われている新嘗祭献穀田抜穂式用に、鎌をご寄贈くださっています。今年で実に42回目です。

三木さんから頂いた鎌を用いての抜穂式が、今回が最後とのことですが、関係者から今後も香美市の鎌で、抜穂式を行って頂きたいとお話がありましたので、香美市の刃物のPRも含め、市としてできる取り組みを、考えていきたいと思えます。

農業と特産品を守るべく、取り組んでまいります。